〈七月の言葉〉

時計の物語

キングコング　西野亮廣　氏

時計には、長針と短針があります。
この２つの針は、一時間に一度必ずすれ違います。重なります。
一時五分ぐらいに重なって、二時十分ぐらいに重なって・・・
ただ、十一時台だけは、長針と短針は重なりません。次に、重なるのは鐘の鳴る十二時なんです。
私が、伝えたいメッセージは、
鐘の鳴る前には必ず報われない時期があるってこと。人生における十一時台というのは必ずあります。でも大丈夫。必ず重なる、鐘の鳴る十二時台が必ずやってきます。挑戦してください。
諦めないで。

日本トレジャース株式会社